

清水税関支署長  
片岡 幹雄 様

## 「社会悪物品の水際取締りについて」



静岡中央ロータリークラブの皆様には、税関業務を紹介する時間を頂戴したいとの申し入れにご快諾いただき、誠にありがとうございます。

清水税関支署は、今から110年前の明治30年に設置され、清水港を始めとして静岡県各港の発展とともに歩んできたという歴史があります。

なお、税関の歴史は、今から148年前の安政6年に、長崎、神奈川及び函館の港に「運上所」を設けたことに始まります。運上所は明治5年11月28日に「税関」と名称が改められ、この日を税関記念日として、さまざまな広報活動を実施しています。

この長い歴史の中であって、不変の税関の使命があります。1つ目が「関税等の適正な賦課及び徴収」です。平成18年度決算では、日本の国税収入の約1割に当たる5兆4千億円を税関が徴収しています。2つ目が「税関の手続きにおける利用者の利便性を通じた国際貿易の健全な発展への貢献」です。国際物流のグローバル化の中で、9.11の同時多発テロ以降、国際物流については、安全の確保と円滑化の両立の視点が不可欠になってきていますが、各国の税関における取り組みとして、コンプライアンスの優れた事業者に着目して、通関手続きの簡素化等の便益に配慮する制度の導入が進められています。3つ目が話の中心である「社会悪物品等の密輸阻止」です。

平成18年の税関における不正薬物の密輸入事犯の摘発件数は378件(対前年比11%増)となっており、特に覚醒剤の摘発件数は過去2番目となる82件(対前年比148%増)を記録しました。全体として、小口・分散化の傾向が見られますが、アヘンについては、1回当たりの押収量としては過去最高となる約15キロの摘発がありました。

近年、暴力団等による拳銃を使用した凶悪犯罪が後を絶たず、大きな社会問題となっている現状にあります。税関による拳銃の摘発は15丁でした。

清水港では、過去10年間に大麻草及び大麻樹脂、コカイン、実包の大口密輸入の摘発があり、これら不正薬物等の社会物悪品の摘発は、外国との接点である水際における摘発が一番効果的です。



清水税関支署監視艇「はごろも」

清水税関支署は、国民、静岡県民の安全と安心を守るため、取締機関である警察及び海上保安庁と連携して、静岡県520キロの海岸線を守っていく所存ですので、皆様方のご理解とご協力をお願いします。



H19年11月に作成された「税関ロゴ」マーク

### 出席報告 ..... 渡会委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確定 出席率
前々回	1/28	52名	37名	11名	—	2名	87.7%
前回	2/4	52名	42名	9名	—	(1名)	—
本日	2/18	52名	34名	9名	81.6%	(1名)	—